令和7年5月定例教育委員会会議録

○日 時 令和7年5月29日(木) 午後3時00分～午後3時50分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 成澤 和則
1番 百瀬 克浩(教育長職務代理者)
2番 清野 康子
3番 中村 公俊
4番 小林 真貴子

○欠席委員

○出席議事説明職員氏名

教育部長	白幡 有	管理課長	石川 聡
管理課主幹	伊藤 智康	学校教育課長	秋山 尚志
学校教育課指導主幹	落合 正幸	社会教育課長	五十嵐 依久子
参事兼藤沢周平記念館長	沼沢 紀恵	次長兼スポーツ課長	阿部 三成
中央公民館長	観世 安司	図書館長	五十嵐 恭子
給食センター所長	大塚 昌史		

○出席事務局職員氏名

管理課課長補佐 上野 美嘉

【会議次第】

- 1 開会
- 2 市民憲章唱和
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 議事
日程第1 議第11号 鶴岡市教育委員会事務事業の点検・評価の対象事業について
日程第2 議第12号 学校運営協議会委員の任命について(非公開)
日程第3 議第13号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出について(非公開)
- 5 報告事項
 - (1) 藤島地域義務教育学校整備の進捗について
 - (2) 新図書館整備の進捗について
 - (3) 新学校給食センター整備の進捗について
 - (4) 荘銀タクト鶴岡 タクトメンバーズ募集開始について
 - (5) 「国史跡小国城跡を訪ねて」の開催について
 - (6) 鶴岡市地域子育て推進講演会について
 - (7) 国際バドミントンU16庄内2025について
 - (8) 「鶴岡北高の歴史展」について

(9) その他

6 その他

開 会 (午後3時)

教育長 ただいまから5月の定例教育委員会を開会する。はじめに市民憲章唱和を行う。

(管理課主幹が先唱し市民憲章唱和)

教育長 本日の会議録署名委員は、1番委員に願います。

それでは議事に入る。日程第1 議第11号 鶴岡市教育委員会事務事業の点検・評価の対象事業について、事務局より説明願う。

管理課長

事務事業の点検・評価については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進並びに市民への説明責任を果たすことを目的とするものである。

本議案は、令和7年度の教育委員会事務事業の点検・評価に係る対象事業として、別紙一覧表に記載のとおり、令和6年度に実施した18事業を提案する。当該事業は、教育委員会各課において、主要事業の中から市総合計画での位置付けや市民生活上の親近性などを勘案し、注目度の高い事業を選び出した。

初めに、管理課の所管事業では「通学対策事業」「学校改築事業」「小中学校大規模改修事業」「国庫補助による新営改良工事」を選定した。スクールバスの運行や学校の環境整備に係る事業など、施策の重要性や予算規模等から同課の主要事業であり、昨年度に引き続き対象事業とする。

次に、学校教育課所管の事業では、昨年度から引き続きの「地域とともにある学校づくり推進事業」「GIGAスクール構想推進事業」「学校系ICT機器等整備運用事業」に加え「教育相談・適応指導事業」を新たに対象とする。

次に、社会教育課所管については、「鶴岡市地域学校協働活動推進事業」は令和3年度以来、「民俗芸能等保存伝承事業」は令和2年度以来の評価である。「文化会館管理運営事業」は毎年度対象としている。

次に、「中央公民館市民学習促進事業」であるが、今年度は施設改修、施設修繕を対象とする。

次に、「藤沢周平記念館管理運営事業」については、本市独自の施設ということで引き続き対象とする。

次に、スポーツ課所管の事業は、昨年度に引き続き「ウォーキング等普及推進事業」「体育施設整備・管理運営事業」「鶴岡市スポーツ少年団本部支援事業」を対象とする。

最後に、図書館・郷土資料館及び学校給食センターの管理運営事業について、両施設は教育委員会の主要施設のため、引き続き対象事業とする。

議案の概要は以上のとおりであるが、これら18事業について、事業の目

的や目標、実施内容及び状況、その評価と今後の方向性について、昨年度と同じ個票様式を用いて取りまとめを行う。

外部評価者については、管理・学校教育分野は、元小学校長の栗田英明氏、社会教育分野は、今回新たに評価をお願いする前みどり幼稚園園長の奥山慎氏、スポーツ分野では元教育委員の田中芳昭氏に依頼している。

今後の進め方は、6月中旬を目途に、事務局において各事業の点検評価個票を作成する。教育委員の皆様にご該当個票を郵送し、意見等を伺い、所管課で確認修正をした上で、7月上旬に外部評価者へ郵送し、8月上旬までに評価をいただき、8月中旬には外部評価者による評価を入れた報告書を作成し、8月の定例教育委員会に提出したいと考えている。議決を得た後、市議会9月定例会会期中を目途に市議会議員全員にお配りするとともに、市のホームページに掲載する予定である。

教育長 ただいまの議第11号について、質問、意見はあるか。

なければ、賛同の方は挙手をお願いします。

各委員 (全員挙手)

教育長 全員挙手により可決された。続いての議案であるが、日程第2議第12号は人事案件のため、また、日程第3議第13号は議会に上程される前の議題のため非公開とすることに異議はないか。

各委員 異議なし。

教育長 異議なしと認め、これより非公開とする。

(会議録は別記録とする)

教育長 続いて報告事項に入る。報告事項(1)について、事務局より報告をお願いします。

管理課長 藤島地域の義務教育学校の設置については、令和6年12月の定例教育委員会において、ご可決をいただいた。

この度は、設立準備委員会の設置に先立ち、小学校の統合時期を令和14年の新校舎竣工より前倒しするかどうかを判断するため、保護者や自治会等の関係者向けに説明及び意見を聞く場を設けることについて報告する。

義務教育学校の建設については、令和14年度を予定しているところであるが、昨年度、整備検討委員会から、新校舎完成前の小学校の早期統合の可能性検討についての附帯意見をいただいております。仮に最短での早期統合をする場合、令和7年7月に設立準備委員会を設置し、設立に関する協議、学校設置計画の策定などを経て令和10年度の開校が想定されている。

一方で、小学校統合時期の判断のための説明、調査については、先ほどの整備検討委員会の附帯意見において、早期統合の可能性を検討するにあたっては、(1)子育て世代の意見を聞くこと、(2)藤島、東栄、渡前

の3校が同じスタートラインに立つ形を前提に検討することとなっているため、子育て世代の意見を聞く場を設ける必要があるのではないかということによって準備を進めている。

子育て世代への説明内容は、早期統合にあたっては、(1) 藤島小、東栄小、渡前小、藤島中は統合により閉校となり、①中学校を含む義務教育学校を早期統合、もしくは、②小学校のみを早期統合し、14年の校舎建設に合わせて義務教育学校とするパターンがあること、(2) 義務教育学校は新たな名称で設立されるため、これまでの小学校や中学校といった名称ではなく、例えば、藤島学園や、藤島義務教育学校、藤島小中学校などの名称に変更となることを説明する。

次に、統合時期の判断方針は、子育て世代の保護者、地域の自治会、各小中学校の校長及び担当者の意見を踏まえたうえで、教育委員会に諮り、方針を決定していく。

このような経過から、現在、保護者等への周知、理解を図るための説明会について、6月中の開催を検討している。

説明会においては、統合に向けた現在の状況と義務教育学校のイメージの共有、早期統合のメリット、デメリットの説明を行ったのち、アンケートを実施し、早期統合の要望がどれほどあるのかについて把握したい。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ次に、報告事項(2)について、事務局より説明願う。

図書館長

4月の委員会では、今年度も昨年度同様四つの市民対話を進め、新たな機能や建設地についてまとめていくとの説明をした。その後の動きについて、報告する。

市民対話の一つ目、当館の特徴である「郷土資料館」との併設について、郷土資料や所蔵資料の適切な利活用に対する、専門家の視点からの意見をいただくため、今年度「郷土資料館のあり方検討会」を開催する。6月25日(水)15時から図書館の講座室で第1回を行う。

二つ目は「つるおか新図書館基本計画企画懇話会」だが、昨年度参加した方を中心に、改めて「基本計画」の懇話会委員の就任をお願いしており、アドバイザーも増員し、7月8日(火)9時30分から図書館の講座室で開催予定である。

三つ目は、時間や場所にとらわれず、デジタル空間で新図書館についての意見を投稿できるデジタルプラットフォームについて、意見募集の開始に向け、事務局でテーマの整理中である。

その他の市民対話としては、図書館ミーティングと題したワークショップやアンケート、ヒアリングなど、特に今年度は図書館の外で、ふだん図書館を利用する機会がない方の声を集めていくために足を運んで、アウト

リーチという形の実施も視野に準備を進めている。

これらの市民対話を基に、基本計画としてまとめていくが、専門的なコンサルタントからの支援を受けるため「基本計画策定支援業務」の委託を予定している。7月8日（火）の企画懇話会から支援をいただく予定である。

最後に建設地についてだが、庁内の検討委員会で候補地選定の考え方を整理し、企画懇話会などにお示しし、決定していきたいと考えている。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ次に、報告事項（3）について、事務局より説明願う。

学校給食センター所長

新給食センター整備については、4月に学校給食・食農教育推進本部を設置し、整備に係る重要事項について意見をいただき、今年度中に新センター整備基本計画を策定することとしている。

推進本部では、市長を本部長、教育長を副本部長、学校、保護者、生産者、調理関係者の10人を委員とした。市役所内部の検討体制としては、新センターを整備するにあたり、教育委員会だけではなく企画部や建設部、総務部など所属をまたがって検討が必要な事項があることから、それぞれ検討が必要な事項の関係課で組織する4つの部会を設置している。

調理運営主体やアレルギー対応、施設規模、整備方式など各事項について、部会で現状や課題を協議しており、整理した内容を本部会議に報告して意見をいただくこととしている。

4月22日開催の第1回会議では、学校給食での地産地消、食農教育について意見をいただいた。明日5月30日（金）には給食センターを会場に第2回会議を開催し、アレルギー対応、新しい調理器具について意見をいただく。会議の内容は公開することとしており、後日YouTubeでの配信を予定している。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。なければ次に、報告事項（4）から（6）を一括して、事務局から説明願う。

社会教育課長

報告事項（4）について、荘銀タクト鶴岡では、チケット販売・管理システムの更新を機に、新たに「タクトメンバーズ会員登録」を開始した。この制度は、タクト事業のチケットを購入したい方から、会員登録をしていただくことにより、ネットやコンビニを通じたチケット購入が可能になる。この登録によって、一般販売に先駆け、会員先行販売のチケット購入ができるようになり、座席指定の公演では、座席の選択もできる。また、登録時に希望された方には、公演情報をメールマガジンでお届けする。会員登録料は無料である。なお、ネット環境がない方でも、タクト窓口で登録することで会員番号が発行され、同様にチケット申し込みができるようになる。

このたびは、会員サービス開始記念として、「ヨーロッパ・ジャズ・コネクション」と「チャボロ・シュミット」来日公演のセットチケットを、会員限定で割引し、先行販売しているのをご案内申し上げます。

続いて、報告事項（５）について説明する。この学習会は、温海地域小国の楯山山頂部に築かれた「小国城跡」を対象とした学習会で、小国城址保存会との連携事業として行う。小国城跡は本市が有する国史跡４件のうちのひとつである。温海地域の自然環境や歴史に詳しい講師の案内・解説を受けながら登ることで、自然と歴史に触れ、郷土を愛する心を育むことを目的に、昨年度より開催している。今年度も６月２２日（日）９時半からの開催を予定しているのをご案内申し上げます。また周知にもご協力願う。

次に、報告事項（６）について説明する。この講演会は、保護者が、各家庭における教育や子育てについて学ぶ機会を設けるとともに、地域の方からも子育てについての関心と理解を深めていただき、社会全体で子育てに取り組む意識を高めることを目的に、毎年開催しているものである。

今年度は、講師に、教育・保育評論家の汐見稔幸先生を招き、荘銀タクト鶴岡小ホールを会場に開催する。汐見先生は、これまで教育や保育に関する著書を多数出版され、現在は一般社団法人・保育デザイン研究所の代表理事をつとめている。当日は、AI＝人工知能の登場による変化の中で、幼いころにどのような体験が必要か、をテーマに講演いただく。

現代の子育てにおける、大変大きなテーマについて考える機会である。教育委員の皆様にも、ぜひご案内申し上げます。なお、参加方法は、会場及びオンラインのいずれかとなっており、託児も用意している。周知にご協力いただきたい。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ次に、報告事項（７）について、事務局より説明願う。

スポーツ課長

この大会については、６月２８日（土）、２９日（日）につるしんアリーナ小真木原において、今回が４回目の開催となる。

本大会は、世界でも類を見ない、アンダー１６世代の各国代表選手が集う国際親善大会である。バドミントン強豪国であるオーストラリア、カナダ、中国、デンマーク、フランス、インドネシア、韓国、マレーシア、ニュージーランド、スコットランド、スペイン、アメリカの１２か国、そして日本のトップジュニア選手・コーチの皆さんが庄内を訪れる。

男女それぞれ１６名の選手が出場するが、山形県内および鶴岡市内の中学生徒とともに、同世代の世界の子どもたちと真剣に切磋琢磨し、交流する貴重な機会である。

また、大会では、地元のバドミントン競技に携わる小中学生による、参

加国別の応援や、2016年リオ五輪女子ダブルス金メダリスト高橋礼華さん等かつての国内トップアスリートによるバドミントンクリニック、また、大会終了時に行われる各国選手とのふれあい交流など、将来オリンピックに出場する可能性がある若手競技者と国際交流することも、大会の開催意義の一つとして捉えている。

教育委員の皆様からも、ぜひ観戦いただき、選手の皆様に熱い声援をお願いしたい。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ次に、報告事項（8）について、事務局より説明願う。

図書館長

郷土資料館からの案内である。中高一貫校である致道館中学・致道館高校の開学で、令和6年3月をもって、鶴岡北高校はその歴史を閉じた。現在、校舎は致道館中学校として供用されているが、『山形県立鶴岡北高等学校百二十七年史』を執筆された阿部博行先生に、当館の郷土資料館運営委員をお願いしていることもあり、先生を通じて、学校の所蔵資料を鶴岡市郷土資料館へ寄贈したい旨の申し出があった。郷土資料館では校長室や同窓会事務局などで保管されていた資料などを受け入れ、現在436点が「鶴岡北高資料」として当館に保管されている。

今回の「企画展 鶴岡北高の歴史」は、これら受け入れた資料を中心に、当館所蔵の関連資料をあわせて展示している。明治期の通信簿やノート、大正期の試験問題、昭和10年代の卒業記念帳や昭和29年から閉校まで変わらなかった制服、同窓会が作成したリカちゃん人形まで、伝統校らしくバラエティに富んだ資料を展示している。

すでに展示が始まっており、会期は7月21日（月）までである。鶴岡高等女学校から続く127年の歴史をぜひ御覧いただきたい。

教育長

ただいまの報告に質問、意見はあるか。

なければ、（9）その他報告事項はあるか。

管理課長

先日発生した、櫛引西小学校手洗い場の水道管破損による漏水について報告する。

5月27日の早朝、櫛引西小学校2階手洗い場の水道管破損により漏水が発生し、校舎1階及び2階に浸水があった。漏電を避けるために校舎棟を停電し、電話や照明、電子機器（パソコン等）が一時使用できなくなった。28日午前照明は復旧し、同日午後パソコンやインターネットも復旧した。

現在、固定電話設備の点検作業を進めているが、保護者との連絡は、メールや緊急用の携帯電話で行っている。授業は通常どおり実施している。児童や教職員への被害はなく、屋内体育館も通常どおり使用が可能で、避難所及び社会体育施設としての利用に影響はない。早期の復旧にむけ、引

き続き取り組んでいく。

教育長

この件について、ご質問、ご意見等はあるか。

なければ、ほかに報告等はあるか。

なければこれをもって5月の定例教育委員会を終了する。

閉 会（午後3時50分）